

(1) 緊急事態宣言に伴う本市の対応について

はじめに、緊急事態宣言に伴う、本市の対応についてであります。今月18日に第55回 真岡市新型コロナウイルス感染症 対策本部会議を開催し、市有施設の利用制限や、市民に周知すべき事項のほか、急増しております自宅療養者の支援を強化することなどを決定いたしました。

自宅療養者の支援については、生活必需品の購入代行などを行う、生活支援窓口をすでに開設しておりますので、活用のPRについて、引き続き、県東保健所と連携を図ってまいります。

また、栃木県との協定に基づき、今後、市の保健師を保健所に派遣し、県と連携を図りながら、患者の健康状態を確認するなど、自宅療養者の支援を強化してまいります。

(2) 新型コロナワクチンの接種について

次に、新型コロナワクチンの接種について、ご報告いたします。

まず、65歳以上の高齢者接種については、8月19日までに、およそ1万9,300の方が2回目の接種を完了しております。この結果、高齢者の接種率は、全国平均の85%を上回る91%となるため、高齢者への接種は、ほぼ完了したものと考えております。

職種等による優先接種については、保育所や幼稚園の職員、消防団員、訪問介護従事者など、社会的配慮が必要な方への接種が完了しており、小・中学校の教職員等についても、8月末までに、2回目の接種を完了できる見込みとなっております。

市内全体の接種率については、12歳以上の全市民、およそ7万1,100人に対し、8月23日現在、1回目接種を終えた方が3万8,366人で、54.0%、2回目の接種を完了した方が2万9,632人で、41.7%となっております。

次に、外国籍の方に対する取り組みであります。先週、本市在住の外国人、およそ3,200人に対し、ワクチン接種の案内チラシを郵送いたしました。チラシの文章は、やさしい日本語のほか、英語、スペイン語、ポルトガル語で翻訳しており、多くの外国人にワクチン接種の啓発を図る内容となっております。

次に、ワクチンの供給についてであります。先日、国から9月以降の見通しが示され、10月上旬までに、11万4,000回分以上のワクチンを確保できる見込みとなりました。これは、本市の対象者のおよそ80%にあたる5万7,000人が、2回ずつ接種できる数量となります。そのため、今月中には、新たな予約枠を公開し、ワクチン接種を再び加速してまいりたいと考えております。

今後引き続き、芳賀郡市医師会にご協力をいただきながら、11月末までに希望者全員への接種完了を目指してまいります。

（3）真岡市スポーツアンバサダーの設置について

次に、真岡市スポーツアンバサダーについてであります。スポーツの分野で活躍する方を通じて、真岡市に関する情報を、各方面に発信し、市のイメージアップやスポーツなどの振興を図るために設置いたします。

アンバサダーは、本市出身の方、または、ゆかりのある方で、スポーツの分野で顕著な功績を残し、知名度のある方とし、本人の同意を得て市長が委嘱するものであります。活動の内容については、本市におけるスポーツの振興や、スポーツを通じて市の魅力をPRし、地域活性化を図る活動などを予定しております。

今後、アンバサダーとして適任な方に委嘱できるよう、調整を進めてまいります。

（4）令和3年および令和4年成人式について

次に、今年の1月から延期しております令和3年成人式についてであります。10月30日、土曜日に、市民いちごホール大ホールで開催いたします。式典については、午前と午後の2回に分け、かつ、時間を短縮し、検温や手指の消毒など、感染予防対策を徹底した上で実施いたします。対象者には、今月末に案内状を発送いたしますので、参加希望の方は、記載されている専用フォームからお申し込みください。

また、令和4年成人式については、令和4年1月9日、日曜日に開催を予定しております。式典については、令和3年と同様であります。企画および運営については、20名の新成人で組織した実行委員会において、

今後、詳細を決定してまいります。

なお、いずれの成人式も、コロナ禍の影響により、変更等が生じる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

(5) はじめての英語ふれあい事業について

次に、「はじめての 英語ふれあい事業」についてであります。市内の公立保育所4カ所に外国人 英語指導助手・AETを派遣し、年齢ごとのレッスンプログラムを実施いたします。プログラムのスタートは10月からで、保育所ごとに月1回のペースで進めてまいります。

内容については、年少、年中、年長により異なりますが、英語による歌やゲーム、絵本の読み聞かせ、簡単な英語表現を用いた会話のやり取りなどを行います。

本市における英語教育の充実については、現在、小学校1年生から取り組んでおりますが、これらのプログラムで、幼児期から英語とふれあうことにより、コミュニケーションの基礎を養い、小学校の英語学習にも、スムーズに取り組めるものと考えております。

(6) ワークショップフェスタおよび子ども美術館の開催について

次に、ワークショップフェスタ「描こう！つくろう！みんなの久保アトリエ」についてであります。9月25日、土曜日と、26日、日曜日に、真岡市公民館および青年女性会館で開催いたします。

対象は、市内の幼稚園生から中学生までで、活動については、子どもの主体性を重視する久保貞次郎氏が提唱した「創造美育」の考えに沿ったもので、自由に絵を描いたり、工作をしたりする内容となっております。

次に、このワークショップフェスタで創作した作品を展示する「もおか子ども美術館」についてであります。10月21日、木曜日から、11月23日、火曜日までの期間、久保記念 観光文化交流館 美術品展示館で開催いたします。

市では、ワークショップフェスタの参加者を募集するとともに、子ども美術館に展示する作品の選考や、会場の準備・運営などを体験する「子ども学芸員」を募集しております。いずれも、事前の申し込みが必要となり

ますので、希望される方は、文化課までお問い合わせください。

（7）その他について

事務局から、その他として3点、お知らせいたします。

1点目は、青空ステーションの利用時間についてであります。現在、真岡まちづくりプロジェクトの実験として、利用時間を午前9時から午後5時まで、水曜日と金曜日は午後7時まで拡大しておりますが、8月31日までとしていた期限を、来年3月末まで延長することといたしました。

夏休み期間中は、宿題をする小学生や勉強する高校生のほか、大人や高齢者の方の利用も見受けられ、1日平均20名程度の利用がありました。

会場では、座席の数を半分に減らし、アクリルパーテーションを設置するなど、感染対策を行っており、今後も引き続き、市民の皆さまに安心してご利用いただける環境を整えてまいります。

2点目は、男女共同参画社会づくり推進事業「カジダン・イクメンエピソード」の募集についてであります。テーマは、カジダン、イクメン、イクジイなど、家事や育児、介護などを積極的に行う男性に関するもので、特に、コロナ禍において在宅時間が増えた家族のエピソードや感じたことなどを募集いたします。

応募できる方は、市内に在住または勤務している方で、男女、年齢は問いません。入賞者には副賞として記念品を差し上げます。詳細については、市ホームページをご覧ください。

3点目は、真岡ごはん「#（ハッシュタグ）キャンペーン」についてありますが、SNSを活用して市内の飲食店等の情報を発信する応援企画「#（ハッシュタグ）真岡ごはん」の利用促進を図るため、9月の1カ月を期間として実施いたします。

キャンペーンの内容については、真岡ごはんPRステッカー3,000枚を配布するほか、観光協会とのタイアップによるプレゼント企画を実施いたします。

ステッカーについては、市役所や観光協会などの窓口で配布いたしますので、応援企画のPR促進にご協力いただければと思います。

プレゼント企画については、#（ハッシュタグ）真岡ごはんの投稿数を増

やすため、9月中にInstagram、フェイスブック、ツイッターで投稿していただいた方の中から、抽選で5名の方に3,000円相当のプレゼントをご用意いたします。

是非、多くの方にご参加いただき、みんなの力で「真岡の食情報」を発信することにより、引き続き、市内の飲食店等を応援してまいります。